

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	児童生徒医療費助成事業		コード	02-01-01-16
			担当課・係	保健課保険医療係
			担当者	出射 詩郎
			電話	64-1819
事業実施期間	H18.4～			
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目(施策)	子育て支援		

事業について	
目的 (何のために)	児童生徒に係る医療費の一部を保護者に助成することにより、子育て支援に資する
対象 (誰・何を対象に)	義務教育中の市内在住の児童・生徒
内容	保険診療での自己負担額のうち一人につき一ヶ月3,000円以上を超えた部分について助成(ただし入院については保険診療での自己負担額全て助成)

事業の結果			
実施項目	回数など (単位)		
	17年度	18年度	
医療費支給件数	0 件	1,134 件	回数など (単位)
医療費支給額	0 円	5,738,637 円	
受給資格者数	人	3,377 人	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	263	国庫補助金等		直接事業費	9,851	国庫補助金等	
	人件費	740	受益者負担		人件費	2,075	受益者負担	
	合計	1,003	市債		合計	0	市債	

結果指標	必要人員	0.10 人	0.35 人
	結果指標名	医療費支給件数	
	結果指標量	1,134 件	
	対前年比	0.00%	
結果指標	活動にかかるコスト	円	9,851,000 円
	単位当たりコスト	円	8,687 円
	結果指標名	受給資格者数	
	結果指標量	3,377 人	
結果指標	対前年比	0.00%	
	活動にかかるコスト	円	9,851,000 円
	単位当たりコスト	円	2,917 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	児童生徒に係る医療費の一部を保護者に助成することにより、小中学生をもつ保護者に対して経済的な子育て支援をおこなう。また、受給者の経済的負担を軽減することで、医療の受診機会の確保、健康保持と福祉の増進を図る。		
成果指標名	受給回数(受給資格者一人当たり)	式又は説明	支給件数/受給資格者数
成果指標量	17年度	18年度	
対前年比	0.34		
到達目標値	0.70	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	A
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境から目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等: 備前市児童生徒医療費助成に関する条例・同施行規則	課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	医療費が年々増加傾向にあるなか、医療費の助成は、対象者にとってはニーズの高い事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	効率性評価<A-E>
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	市独自の制度であるため、現在の給付方法は償還給付のみである。そのため、受給者の利便性の向上及び事務効率の向上が課題となる。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E>
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	B
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	広報掲載等により定期的に住民への周知を図っているが、制度ができて間もないこともあり、対象者の本制度に対する認知度については、向上の余地がある。	

事業の目的、対象内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了
説明	本事業は対象者にとってはニーズの高いものであるため、制度の周知を図りながら前年と同様継続する。
目標値	結果指標量 1,650 結果指標量 3,333
成果指標量	0.50

総合評価		評価区分 <A-E>	B
ニーズの高い事業であるため、利用者の反応は概ね好評であると思われる。乳幼児医療費助成制度とのバランスも考慮しながら、今後も制度の充実を図っていきたい。			

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	広報その他の利用し、制度の周知徹底を図る	平成20年度中	受給者の増加により、児童生徒の健康保持と福祉の増進にさらに寄与できる。